

令和3年8月の大雨で被害を受ける

佐賀県武雄市などを流れています六角川では床上浸水などの被害を受けましたが、唐津市厳木町を流れている厳木川でも氾濫危険水位を超えるなど河川の水位が上昇し堤防に被害を受けました。もう少し雨が長引いていれば、堤防決壊などの惨事に見舞われていたかも知れません。



厳木川の災害の様子



防災対策の準備をおこないましょう

川 ら 版

国土交通省武雄河川事務所
松浦川出張所
厳木ダム管理所

発行所
武雄河川事務所
松浦川出張所
唐津市原1754
(〒847-0031)
TEL(0955)77-1735
FAX(0955)77-3544
ホームページアドレス
<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>
【裏面】厳木ダム管理支所
唐津市厳木町広瀬446-4
(〒849-3111)
TEL(0955)63-2500
FAX(0955)63-2512
ホームページアドレス
<http://www.qsr.mlit.go.jp/kyuragi/>

9月1日

第 20 号

紙面の問い合わせ
上記発行所へ



松浦川・厳木川・徳須川
お話し情報
す。に川松
つ・浦
い厳川
て木・
お川徳
話の須
し情恵
ま報



武雄河川事務所

Twitter

https://twitter.com/mlit_takeo

#松浦川 #唐津 #武雄河川事務所

余裕を持って安全に避難するために。

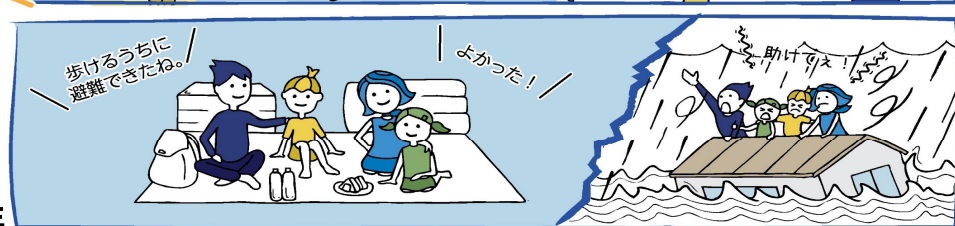
マイ・タイムラインをつかって、いざという時の自分の行動を考えておきましょう。

マイ・タイムラインが
あるとき

3日前



マイ・タイムラインが
ないとき



はんらんはっせい
氾濫発生

マイ・タイムラインとは

災害への備えとして、自分自身が事前に防災行動を時系列に整理しておき、いざという時に速やかに避難を行うための行動計画表のことです。

武雄河川事務所ではマイ・タイムライン、防災マップ作りなど地域支援を行っています。お気軽にご相談ください。

厳木川での令和3年8月出水を振り返って

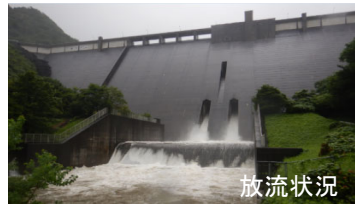
○昨年8月前線に伴う豪雨により、ダム上流域において、8月11日から2週間あまりで流域の年間降水量の約半分を占める降雨を観測し、8月のひと月の流域平均雨量は、ダム完成(S62年)以降1位の雨量となっています。

【参考】8月ダム上流域月間降雨量 1位: 令和3年1279mm、2位: 令和元年898mm、年間降水量平均2831mm(過去10年)

○8月14日には、厳木ダムへ流れ込む水量の一部を貯め、**ダム下流へ流す水量を最大時で約5割低減**させました。

○厳木ダムが整備されていなければ、ダム下流の中島橋地点で水位が**約71cm上昇し氾濫危険水位を超過していたと推定**されます。

【厳木ダムの洪水調節効果】

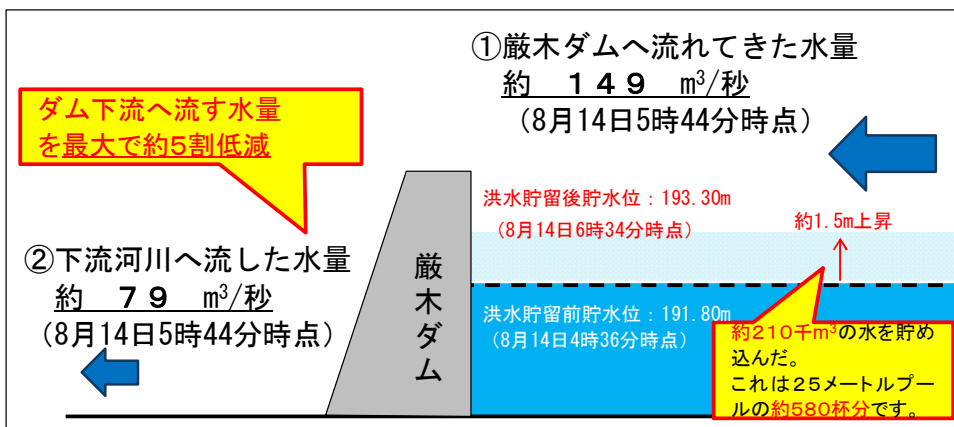


放流状況



堤頂より上流を望む

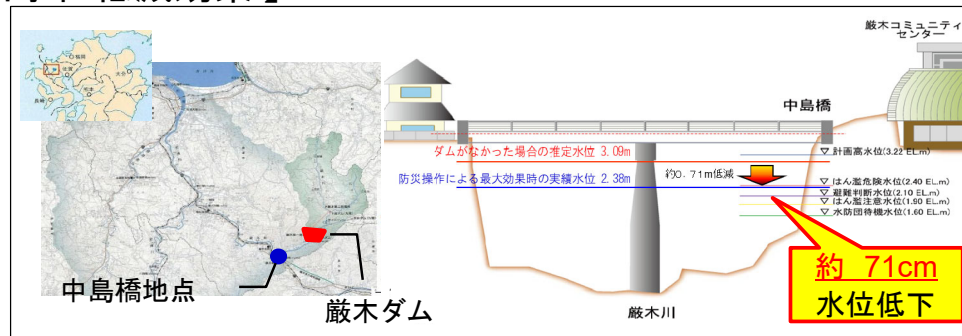
8月17日12時頃



【厳木ダムにおける下流河川水位低減効果】



8月14日 5:40頃



ダム警報設備の嵩(かさ)上げ

【ダム警報設備の嵩上げ】



一般的な大雨時にサイレンを吹鳴するのはもちろん、「緊急放流」が予想されるような状況で浸水が始まっている場合でも間違いなく吹鳴(すいめい)ができるよう嵩上げ(耐水化)を実施します。

* 対象警報所は、長部田警報所(完成)、中山警報所(3月末完)、久保警報所(3月末完)、今後は、町切警報所、万造警報所の嵩上げも予定しています。

「緊急放流」とは？

ダムの計画を上回る洪水時には、ダムに水が貯められなくなり、ダムに流れ込んでくる水と同じ量をダムから放流する操作へ移行することになります。このことを「緊急放流」と言います。

ダム湖に流れ込んでくる水量以上を下流に流すことはありません。(それまでダムにため込んだ水はダムに確保したまま操作。)